

## 集中豪雨（しゅうちゅうごうう）



短（みじ）い時間（じかん）に、同（おな）じ場所（ばしょ）にたくさん雨（あめ）が降（ふ）ることを「集中豪雨（しゅうちゅうごうう）」といいます。大雨（おおあめ）や集中豪雨（しゅうちゅうごうう）になったときは、次（つぎ）のことに気（き）をつけてください。

1. 大雨（おおあめ）や集中豪雨（しゅうちゅうごうう）になると小（ちい）さい川（かわ）はすぐに水（みず）の量（りょう）が増（ふ）えます。急（きゆう）に、川（かわ）があふれ道（みち）や家（いえ）が水浸（みずびた）しになるかもしれません。山（やま）では、がけが崩（くず）れるかもしれません。大雨（おおあめ）のときは、川（かわ）や山（やま）には、近（ちか）づかないようにしましょう。

2. 大雨（おおあめ）や集中豪雨（しゅうちゅうごうう）のときは、テレビやラジオで天気予報（てんきよほう）を聞（き）きましょう。「警報（けいほう）」や「注意報（ちゅういほう）」がでたら、特（とく）に気（き）をつけましょう。

3. 災害（さいがい）が起（お）きそうなときは、市役所（しやくしょ）や消防署（しょうぼうしょ）などから、逃（に）げるようにお知（し）らせがあります。テレビやラジオ、インターネットの情報（じょうほう）に注意（ちゅうい）しましょう。

4. 逃（に）げるときは、動（うご）きやすい服（ふく）を着（き）て、運動靴（うんどうぐつ）をはき、帽子（ぼうし）をかぶりましょう。荷物（にもつ）は少（すく）なくして、背負（せお）うかばんに入（い）れて、手（て）には物（もの）を持（も）たないようにしましょう。家族（かぞく）や近所（きんじょ）の人（ひと）と一緒に（いっしょ）に避難所（ひなんじょ）へ歩（ある）いて行（い）きましょう。避難所（ひなんじょ）とは、みんなが逃（に）げるところです。

5. 川（かわ）があふれていたり、家（いえ）の中（なか）に水（みず）が入（は）

い) ってきたりしているときは、無理 (むり) に外 (そと) に出 (で) ないでください。飲 (の) み水 (みず) や食 (た) べ物 (もの) を持 (も) っ、家 (いえ) の2階 (かい) など高 (たか) いところへ逃 (に) げてください。

これからは雨 (あめ) の日 (ひ) が多 (おお) くなる季節 (きせつ) です。大雨 (おおあめ) や集中豪雨 (しゅうちゅうごうう) には十分注意 (じゅうぶんちゅうい) しましょう。